



未来につながる、明日をつくる。

EPOC

環境パートナーシップ・CLUB
ENVIRONMENTAL PARTNERSHIP ORGANIZING CLUB
www.epoc.gr.jp/

ごあいさつ



環境パートナーシップ・CLUB
会長 柏植 康英
東海旅客鉄道(株)



副会長 小池 利和
ブライザー工業(株)



副会長 山中 康司
(株)デンソー



副会長 大島 順
日本ガイシ(株)



副会長 寺師 茂樹
トヨタ自動車(株)



副会長 富成 義郎
東邦ガス(株)



副会長 倉田 千代治
中部電力(株)

環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)は、環境行動に熱意ある企業・団体等が一同に会し、業種・業態の枠を超えて環境負荷低減活動などに関する研究、交流、実践、そして情報発信を行うことによってわが国の持続的な経済発展に資するため、中部地域の産業界が中心となり2000年2月に設立されました。

設立以来、環境経営に資する情報提供、循環型社会・低炭素社会・自然共生社会に関する先進事例の調査、次世代層への環境啓発や海外研修生との意見交換など、多岐に亘る活動を展開し、循環型経済社会の構築に向けた取り組みを進めてきました。また、2005年からは、愛知県とともに愛知環境賞の表彰を行い、環境負荷の低減に資する先駆的事例の紹介を通して資源循環型社会の実現を支援するとともに、中部地域で開催された2005年の「愛・地球博」(日本国際博覧会)、2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)、2014年の「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」に協力するなど、自治体や地域と一体となった取組みにも注力してまいりました。

気候変動など地球規模の環境問題への対応をめぐる国際的枠組みは、パリ協定が2016年11月に発効したのちに米国が離脱を表明するなど、国際政治情勢の影響を受ける不安定さもはらんではいます。一方で、持続的な経済発展を追求していくために、環境保全と企業活動が調和した循環型経済システムへの変革を着実に進めることができることが喫緊の課題であることに変わりはありません。このような中、わが国が環境問題に対応していくにあたっては、国レベルで行われる取り組みに加えて、各企業による主体的な環境行動と、業種・業態の枠を超えた企業間の連携、産官学や地域の幅広い主体が参加した連携を推し進めることが、重要性を増していると考えられます。

まさにEPOCでは、これまで「持続可能な経済社会」の実現に向けて、幅広い企業間・主体間で連携して行う活動の実績を積み上げてまいりました。EPOCが持つ役割、活動の意義は、益々大きくなると考えています。EPOCは、「企業が培ってきた環境のわざ(成果)を活かして、『低炭素社会』・『循環型社会』・『自然共生社会』を相互に連携させた『持続可能な経済社会』の構築を目指す」として、2020年ビジョンを定めています。その実現に近づくために、今後も会員の皆様とともに様々な活動を展開して参りたいと考えています。会員の皆様には、一層のご支援と、引き続き活動への積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

環境パートナーシップ・CLUB会長

柏植 康英

設立の目的

産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、エコ・エフィシェンシー(環境効率性)の実現を追求するとともに、中部圏から環境対応に関するさまざまな情報を発信し、世界に誇れる環境先進地域の形成と安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指します。

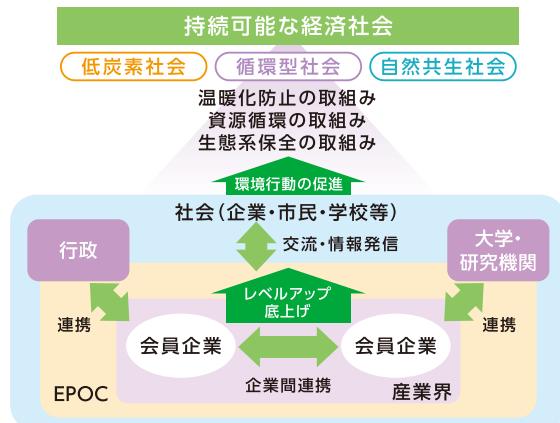
- 環境行動の社会への浸透活動
- 環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- 環境行動に関する情報発信活動
- 環境行動に関する国際交流活動

2020年ビジョン

「環境のわざ」を活かして 持続可能な経済社会の実現へ

企業が培ってきた環境のわざ(成果)を活かして、「低炭素社会」・「循環型社会」・「自然共生社会」を相互に連携させた「持続可能な経済社会」の構築を目指す。

- 活動方針**
- 環境経営の実践と連携強化により産業界全体の底上げと更なるレベルアップを図り、環境と経済の両立を目指した事業革新を推進する。
 - 会員以外の企業や市民・学校等、地域との交流や情報発信により、環境行動の契機を提供する。



主な活動

環境経営

セミナーや視察を通じて、環境関連の法令や環境問題に関する社会動向、技術情報、企業の対応事例など、環境管理と現場の実務に役立つ情報を提供しています。また、参加メンバーの研鑽の場として勉強会を開催しています。



環境経営先進セミナー

次世代交流

小中学生などに代表される次世代層に対する環境啓発と環境教育を支援するため、会員企業が有する教育ツールや施設を活用した実践的かつ体験型の環境講座を実施するとともに、行政等との連携を通じた幅広い環境啓発活動に取り組んでいます。



会員企業による環境講座

自然共生社会

企業の事業活動全般を通じて生態系に与える影響の把握や低減への取組み、生態系から得られる便益の持続可能な利用に関する企業の取組みなどについて、事例調査や支援活動等を行うことで会員企業の今後の取組みをサポートします。



生物多様性保全活動の視察

海外交流

海外研修生の受入機関、海外の企業、団体、日本企業の海外事業所等と連携し、研修生や会員同士の交流等による相互理解の醸成を図る活動を行っています。



海外からの研修生との交流

循環型社会

中部地区の資源循環社会の形成を促進するため、研究会や視察等の開催を通じて、知識や技術の向上と会員企業間の情報交換を図っています。また、産官学の連携により、技術開発や事業化に関する課題検討を行い、3Rなどの環境関連情報を発信しています。



愛知環境賞受賞企業 見学会の様子

活動報告・情報発信

活動成果を広く社会へ普及・展開するため、その成果をまとめた報告書等を配布しています。また、最新の環境関連情報やEPOCの活動紹介等をホームページで発信することで、社会に対する環境意識の高揚と環境活動の拡大を目指しています。

低炭素社会

低炭素社会の実現に向けた社会の動向や、水素社会到来に向けた先進的な取組みを調査して、業種や業態の枠を超えた幅広い事例や革新技術の情報を発信し、会員各社のレベルアップと相互交流・連携の促進を図っています。



水素関連技術視察の様子

地域交流

「愛知環境賞」(愛知県受託事業)の企画実行を主な活動とし、表彰事例の周知、普及展開等を実施しています。更なる「環境先進地域」を目指し、会員相互が参加・交流出来るよう、講演会、交流会等の企画・実施をしています。



2018愛知環境賞 交流会 パネル紹介

総会・理事会・幹事会

年1回開催される総会では、エネルギー・環境分野の有識者の方等をお招きし、環境への取り組みに係わる講演会を開催しています。また、年2回開催される理事会、幹事会ではEPOCの活動に関する中長期的な議論が活発に行われています。



総会



講演会



交流会

役員・顧問 2018年7月12日現在

会長 柏植 康英 東海旅客鉄道(株) 代表取締役会長

副会長 小池 利和 ブラザーワーク(株) 代表取締役会長

副会長 山中 康司 (株)デンソーアクセス 代表取締役副社長

副会長 大島 卓 日本ガイン(株) 代表取締役社長

副会長 寺師 茂樹 トヨタ自動車(株) 取締役・副社長

副会長 富成 義郎 東邦ガス(株) 代表取締役社長

副会長 倉田 千代治 中部電力(株) 代表取締役副社長執行役員

理事 三尾 晋司 アイシン精機(株) 専務役員

理事 川村 光弘 (株)荏原製作所 中部支社長

理事 久野 恒靖 新東工業(株) 常務取締役

理事 今井 正 新日鐵住金(株) 執行役員名古屋製鐵所長

理事 柴 秀貴 (株)ダイセキ 代表取締役社長

理事 福永 恵一 (株)豊田自動織機 専務役員

理事 加藤 博 (株)ノリタケカンパニーリミテド 代表取締役社長

理事 菊野 仁史 (株)日立製作所 中部支社長執行役員

理事 野村 研 富士通(株)東海支社長

理事 羽鳥 信 三井物産(株) 執行役員中部支社長

理事 佐古 則男 ユニー(株) 代表取締役社長

理事 遠藤 健治 リンナイ(株) 執行役員品質保証本部長兼環境部長

監事 金剛 宣邦 岡谷鋼機(株) 常務取締役

監事 大川 哲平 日本特殊陶業(株) 代表取締役副社長 副社長執行役員

総合事務局 小川 勝美 (一社)中部産業連盟 専務理事

顧問 富吉 賢一 経済産業省中部経済産業局長

顧問 秀田 智彦 環境省中部地方環境事務所長

顧問 大村 秀章 愛知県知事

顧問 古田 肇 岐阜県知事

顧問 鈴木 英敬 三重県知事

顧問 河村 たかし 名古屋市市長

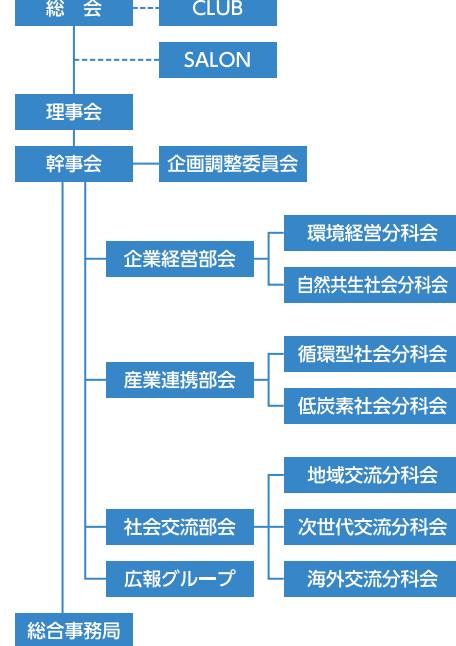
顧問 太田 稔彦 豊田市市長

顧問 架谷 昌信 愛知工業大学工学部機械学科特任教授

顧問 鈴置 保雄 愛知工業大学工学部電気学科教授

顧問 水野 明久 EPOC前会長 (中部電力(株) 代表取締役会長)

組織体制



会員企業・団体

2018年7月12日現在 271社(者)

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 入会のご案内

④特典

- 異業種交流、産学官民交流を通じて環境諸活動に関するベンチマークィングを実践できます。(各企業、団体等の環境負荷低減活動の取り組み状況やその効果・成果等)
- 講演会、セミナー、シンポジウムなどを通じて、環境に関する最新の諸情報を得ることができます。
- 持続可能な経済社会の構築に関する調査、研究及び各種活動に参画していただくことができます。

⑤入会資格(一般会員・特別会員とも)

- 1. ISO14000シリーズの認証取得者
- 2. その他の国際環境規格と認められる規格の認証取得者
- 3. EPOC会員からの推薦のあった者
ISO14000シリーズ等国際環境規格の取得に取り組んでいる者
国際環境規格の取得を支援する者
その他、環境負荷低減活動に熱意があると認められる者

⑥申込方法

- 入会の申込はホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記載の上、EPOC総合事務局まで送付ください。
入会資格審査後、総合事務局より入会のご案内を差し上げます。

⑦会費

- 1. 会費(1年間)
一般会員(企業・団体):5万円/口(税別)
原則2口以上、ただし中小企業基本法に定める中小企業は1口以上
特別会員(学識経験者、国・地方公共団体):無料
- 2. 入会金5万円(税込み)
※ご入会いただきますと会員認定状を発行いたします。
※入会資格及び脱会につきましては、EPOCの規約に則って審査いたします。



ENVIRONMENTAL
PARTNERSHIP
ORGANIZING
CLUB

お問い合わせ先

環境パートナーシップ・CLUB総合事務局

〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 一般社団法人中部産業連盟 内

TEL.052-931-3180 FAX.052-931-5198

ホームページのご案内 www.epoc.gr.jp/



森の町内会

間伐に寄与する紙

www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。